

1 ひとり親家庭の交流の場へ おやこ食堂の定期開催

おやこ食堂
のべ230食

2023年度は、これまでコロナ禍や諸事情で不定期の開催だった「おやこ食堂」を、ようやく定期開催することができました。調理などに不慣れなことも多く試行錯誤しながらでしたが、ひとり親家庭の交流の場や必要な支援につないでいく機会として必要だと実感しました。今後の課題としては、関わってくださる地域ボランティアや協力企業・団体への働きかけが十分にできていないことなどが挙げられます。自分たちだけの開催には限界があります。今後は周囲への情報発信や連携などに注力し、細くとも継続できる地域の拠り所となる「おやこ食堂」を目指します。



2 子どもの安心・安全な居場所づくり 週3日の学習支援

学習支援
のべ447人が利用

主にひとり親家庭の子どもたちを対象にした平日放課後の学習支援を行いました。中学生1人からスタートした取り組みが、ピーク時には13人となり、最終的には参加者全員が中学3年という受験生対象の支援となりました。受験が近くなった秋ごろからは週3日の開室とし、入試が終わるまで可能な限りの支援を行い、3月には全員の合格の知らせが届き、支援スタッフもひと安心しました。子どもたちの様子を見ながら、自学の習慣が少しでも早いうちに身についていければということや、家庭での学習環境の課題も見えてきました。今後も子どもたちの安心・安全な居場所と、学習支援を続けていきます。

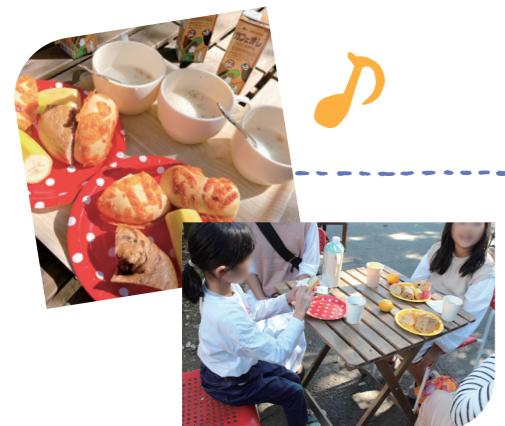


3 子どもたちへ生活体験を提供 夏休みの「スマイルクラブ」

スマイルクラブ
のべ132人が利用

夏休み期間中の子ども預かり「スマイルクラブ」を実施しました。当初はひとり親家庭の子どもの参加を想定して募集をしましたが、実際の参加は共働き家庭の子どもが大半を占め、ひとり親家庭の子どもは数人でした。理由は、ひとり親家庭もその多くが休暇中も学童を利用しているということや、送迎の問題、特別な支援を必要とする子どもを預かる体制が整っていないなどがありました。

参加した子どもたちは、開催期間中、宿題や自然遊び、料理、映画鑑賞、バスに乗って役場に行ってみるなど、さまざまなことを経験できました。夏休みの預かりを実施したことでの、子どもたちの間に生活体験の格差があるのではないかということが見えてきました。

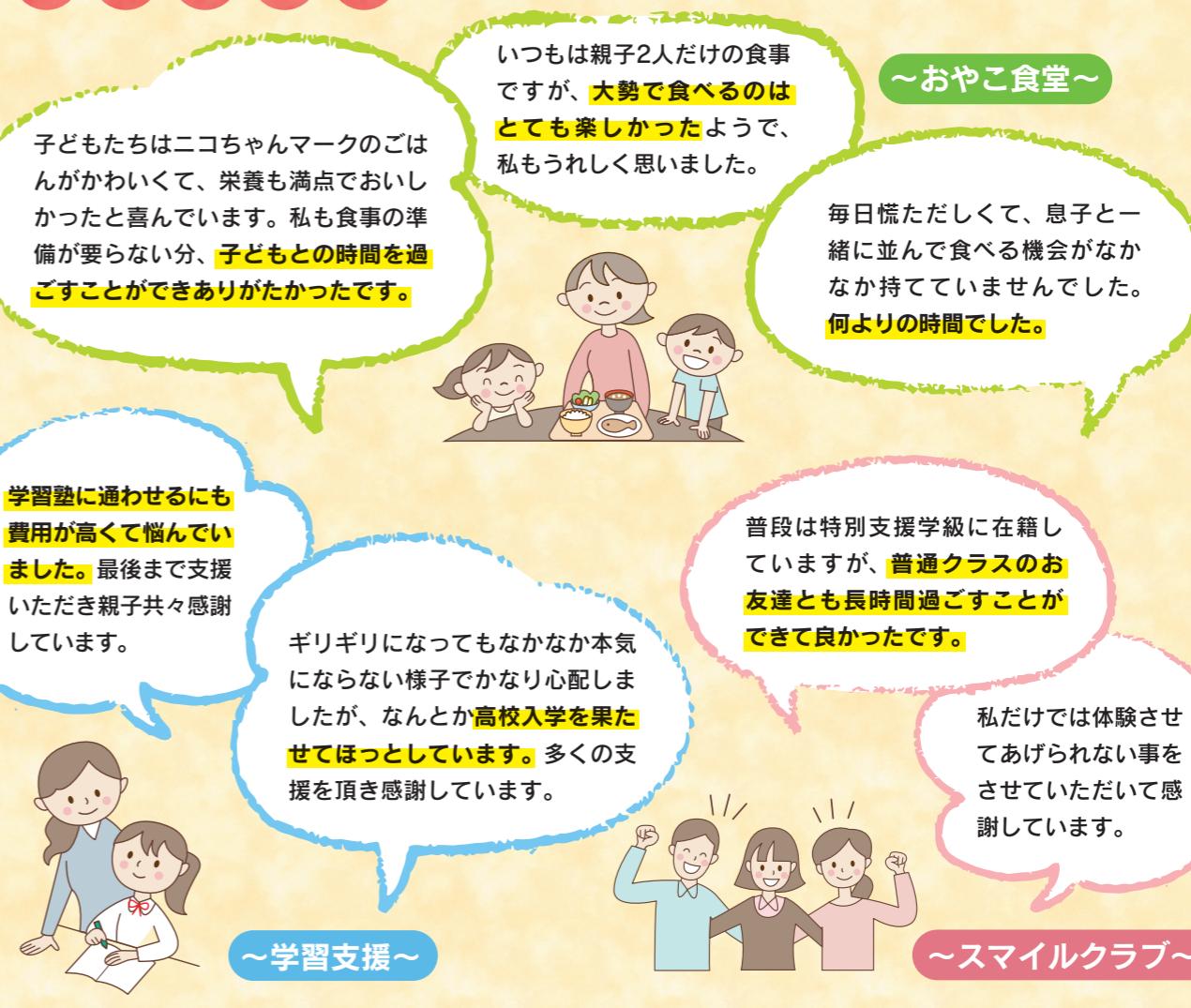


4 気軽に相談できる場づくりを 個別での就労・生活支援(おやこカフェ)

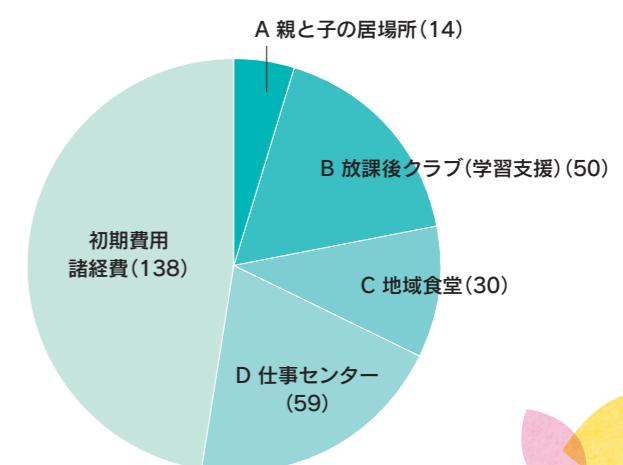
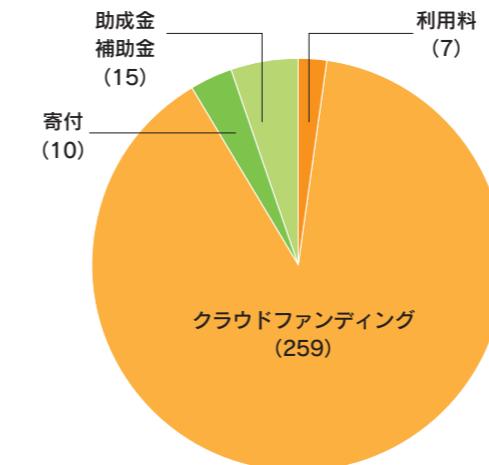
おやこカフェ
のべ80人が利用

今年度は講座として取り組むことはできませんでしたが、さまざまな機会を通じて個別に声を掛けるなどしながら、仕事や生活の相談に乗ったり、必要な支援につないだり情報を届けたりしました。おやこ食堂や学習支援などは保護者につながる貴重な機会だと考えています。また少数ではありますが、LINEなどで個人的に相談される方もありました。現在、PCを貸与し、スキルアップ講習の準備をしています。引き続き、気軽に相談できる場と体制を整えていきます。

参 加 者 の 声



2023年度会計報告・事業総括



今年度は、クラウドファンディングで多くの方々から259万円ものご寄付をいただき、そこに助成金と補助金等を加えた総額291万円を本事業の活動資金として活用させていただきました。支出についてはグラフに示した通り、主に夏休みや学習支援時のアルバイト代、自立支援のためのパソコンと教材費がまとめた支出となりました。おかげさまでこれまで取り組めていなかった長期休暇の預かりなどにもチャレンジすることができ、課題も見えてきました。次年度はそれらの課題を活かしながら安定した支援を継続していくよう取り組みを進めます。引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いします。

単位:万円